



改善事例紹介

舞台上部スノコ鉄骨の作業効率改善

東北真栄会 躯体部会

株式会社カガヤ

工事概要

構造概要 鉄骨造 地上2階

建築面積 5901.66㎡

延床面積 6356.88㎡

建物用途 ホール 貸室 図書館 レストラン 地域特産品販売店 等

動機・ねらい

ホールや体育館のステージ上部へ設置される「スノコ鉄骨」。

溝型鋼等軽量鋼を用いる「スノコ鉄骨」を現場据付けする際

製品を1台ずつ据付けすると施工時間・工数が相当かかる。

製品を工場製作の段階でユニット化する事で台数を削減し

現場据付け作業の効率化を図った。

実施概要

工場製作

- ・溝形鋼を5本から6本、梁上フランジと取り合うために孔を

明けたフラットバーへ溶接を用いて接合し、ユニット化。

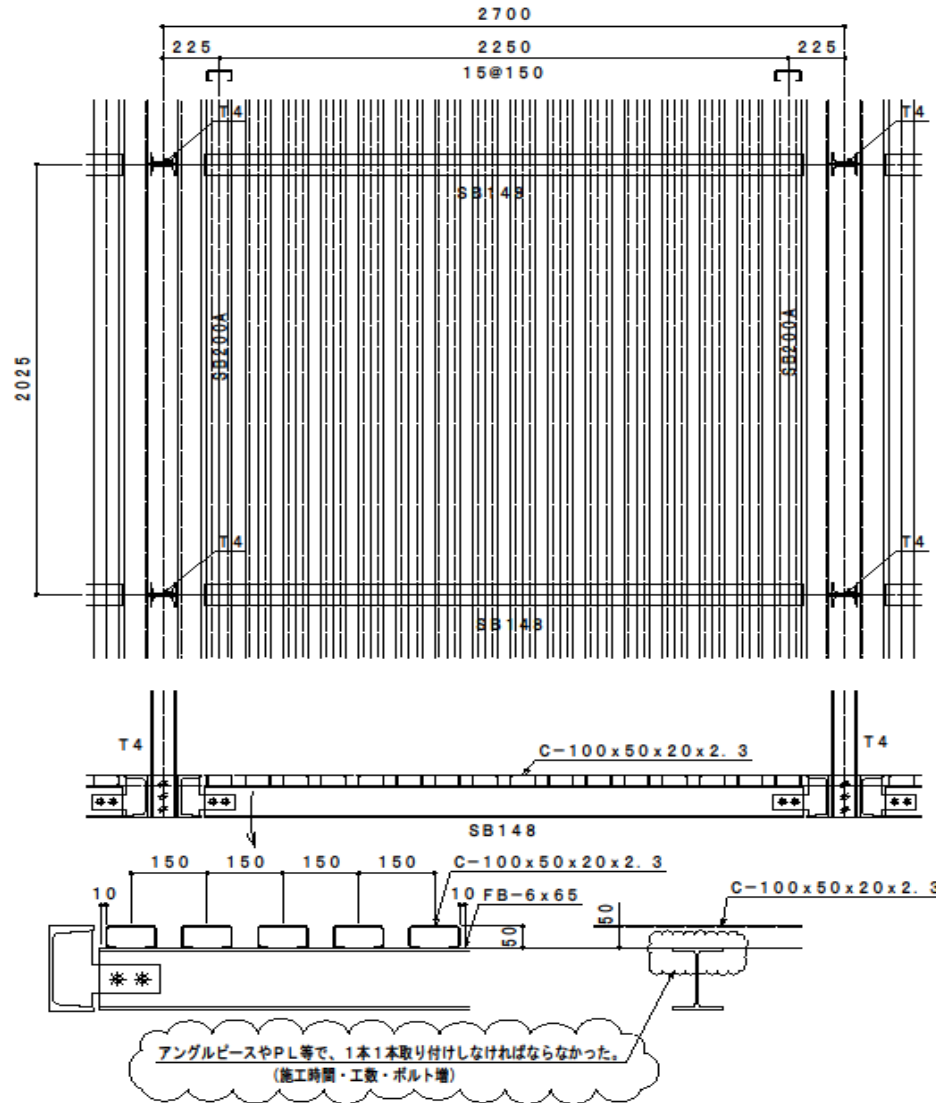
現場施工

- ・フラットバーに明けておいた孔と梁上フランジに明いている

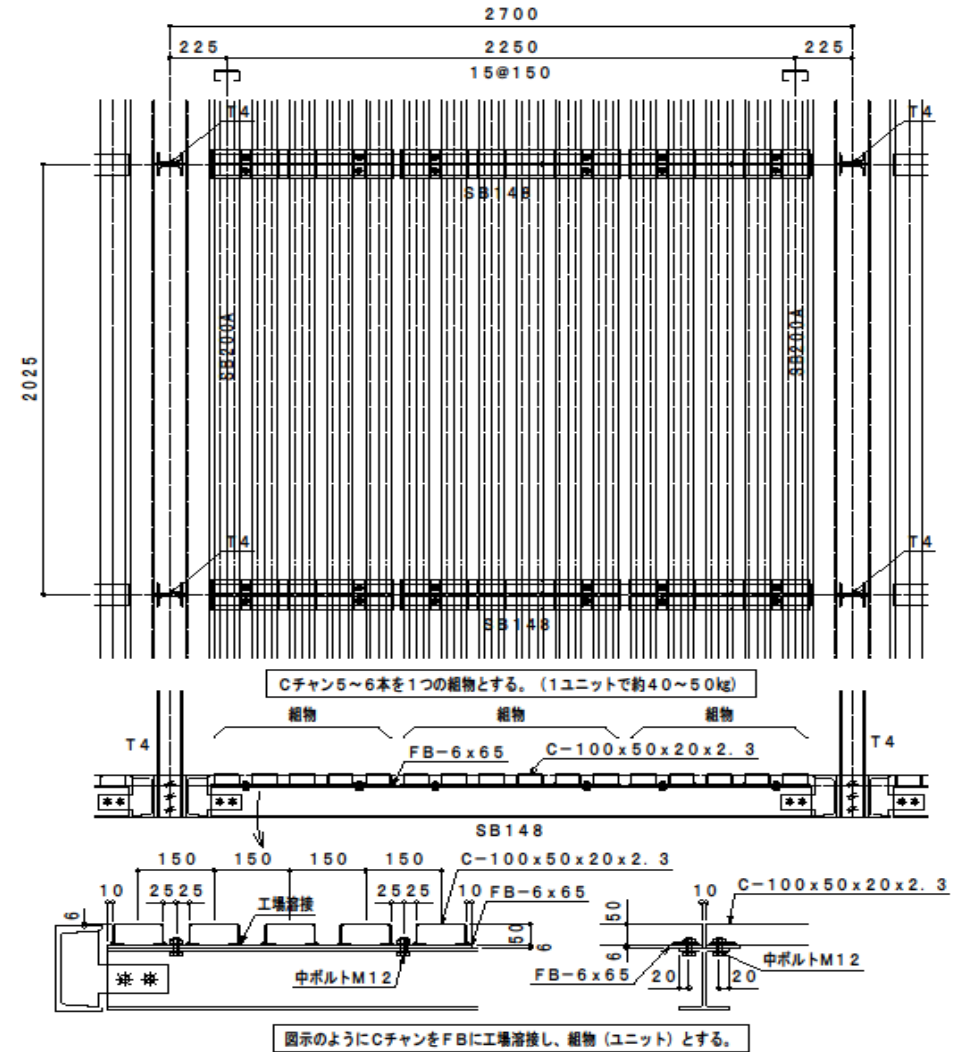
孔をボルトにて接合。(1ユニット当たり片側2か所ずつ)

設計仕様

<改善前>



<改善後>



現場施工



効果・感想

効果

- ・溝形鋼への孔明け作業工数削減。
- ・製品台数把握が容易となる事での出荷工数削減。
- ・現場での施工性・安全性向上、工数削減(10日→5日)。

感想

- ・軽量鋼を使用する鉄骨のユニット化が現場工数削減に対し効果がある事を確認した。